

「グリーン・トランスフォーメーション(GX) タスクフォース」の設置について
～お客様のカーボンニュートラルの実現・脱炭素社会への移行に向けた取組みの支援
を通じて、産業の成長・発展に貢献～

東京海上日動火災保険株式会社(取締役社長 広瀬伸一、以下「当社」)は、2021年2月1日に、保険の開発・提供やリスクコンサルティングを通して、お客様のカーボンニュートラルの実現・脱炭素社会への移行に向けた取組みを支援し、産業の成長・発展に貢献することを目指す、「グリーン・トランスフォーメーション(GX) タスクフォース」を設置することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 背景

地球温暖化・気候変動を背景に、世界各国で脱炭素化に向けた動きが加速する中、政府は温暖化への対応を成長の機会と捉え、2020年12月に「グリーン成長戦略」を公表するなど、今後あらゆる産業で低炭素化、脱炭素化に向けた取組の進展が見込まれています。

当社においても、地球温暖化・気候変動という重大な社会課題の解決に向けて、再生可能エネルギー向けの商品の提供やリスクコンサルティングを実施してまいりました。具体的には、2020年3月に、洋上風力発電事業のリスクを包括的に補償する専用パッケージ保険を開発しております。また、同年6月に、当社グループの米国HCC Insurance Holdings, Inc.社を通じて再生可能エネルギー事業向けの保険引受を行う保険総代理店GCube社を買収し、同社のノウハウの活用を推進してきました。さらには、当社グループ会社である東京海上日動リスクコンサルティング社が、独自の自然災害リスク評価モデルや再生可能エネルギーの専門人材などを活用し、洋上風力発電等の様々な領域におけるコンサルティングをお客様に提供してきました。

地球温暖化・気候変動への対応の重要性が増す中、これまでの取組みを通して当社グループ全体で培ってきた叡智を結集し、幅広いお客様のこれからの取組みに寄り添った支援を進めていくべく、この度、新たな取組みを開始することといたしました。

2. タスクフォースの設置について

当社は、2021年2月1日より、再生可能エネルギー等を対象とする保険商品・サービスの開発・提供やリスクコンサルティングを通して、お客様のカーボンニュートラルの実現・脱炭素社会への移行に向けた取組みを支援し、産業の成長・発展に貢献することを目指す、当社グループ横断の新組織「グリーン・トランスフォーメーション タスクフォース」を新設いたします。

タスクフォースは、商品開発部門、営業企画部門、グループ会社であるリスクコンサルティング会社等で構成します。各部署の専門性を持ったメンバーが機動的に連携して取組む体制を整備することにより、様々な課題に柔軟に対応できると考えております。

新組織の設置により、主に以下のような取り組みを推進してまいります。

- ・ 国内洋上風力発電産業の普及促進に資する保険商品の開発
- ・ 蓄電池の普及、水素活用の促進、CCS・CCUS(※)等新技術の確立に資する保険商品の研究・開発
- ・ 分散型エネルギーシステム構築に向けた地方自治体・企業へのご支援
- ・ 外部専門人材等の採用・育成
- ・ 事業性評価に必要な各種コンサルティングサービスのワンストップでの提供体制の構築

(※)CCS(Carbon dioxide Capture and Storage)とは排出された二酸化炭素を回収・貯留する技術であり、CCUS(Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage)とは、分離・貯留した二酸化炭素を利用する技術を指します。

また、今後タスクフォース内に、蓄電池・水素・CCS・CCUSといった新たに着目されている脱炭素技術を研究するプロジェクトチームや、企業・地方自治体向けの保険商品・サービスを検討しご提案するプロジェクトチームを順次設置し、取り組みを加速してまいります。

当社は、幅広い企業・地方自治体などのお客様と共に、カーボンニュートラルの実現・脱炭素社会への移行に向けた歩みを着実に進め、我が国の「2050年カーボンニュートラル」に貢献してまいります。

以上